

## 特集

台風18号より1年…

## あの日を忘れない。



広報

## りっとう

一日も早い復旧・復興を目指し、現在も作業が続く安養寺山の南側。

痛ましい状況から、今年の台風18号がいかに大きいものであったのか、自然災害の恐ろしさを私たちに教えてください。

2014年  
(平成26年)

9月

No.908

- ・幼稚園・保育園・幼児園の新年度入所について…P 8
- ・喫煙マナーを守りましょう……………P 8
- ・野焼き(野外での廃棄物焼却)は禁止されています…P 8
- ・認知症キャラバン・メイト養成講座…P 9
- ・りっとう再発見  
「萬年寺の肖像画」……………P 10

ホームページアドレス

<http://www.city.ritto.shiga.jp/>

いっとう/栗東





# あの目を忘れない。

2013年9月15日から16日にかけて、栗東市を襲った台風18号。降り始めからの総雨量は436mmに達し、死者1人、家屋全壊4棟、半壊13棟、床上浸水12棟、床下浸水127棟などの甚大な被害をもたらし、栗東市にとって決して忘れてはならない日となりました。

平穏な日々を一瞬にして反転させた台風。この経験から、今後、同じような災害がまちを襲った時、被害を最小限にするために、私たちにできることを考えます。



前自治会長・倉内 仁さんと前年度役員の皆さん（下戸山）

安養寺山南側の土砂崩れにより、死者1人、家屋全壊3棟などの被害。歴史ある五百井神社も、本殿や拝殿など境内の建物がほぼ全壊する被害を受けた。

9月15日の深夜は停電や、風雨により市の防災無線も聞こえない状況でしたが、幸いにも、携帯電話は使うことができました。状況が分からない中、安養寺山の土砂崩れが発生する前に、役員が手分けして地域を歩いて見回りました。安養寺山が崩れ、二度目の崩壊場所は、15分ほど前にいた所でした。その時の恐ろしい音や光景ははっきりと覚えています。

台風18号の被害を受けて感じているのは、現場が一番情報が早いということです。市の避難勧告を待つ前に、状況は地域が一番分かっていますので、危険だと感じたら、一刻も早く避難する必要があります。そのためにも、やはり地域で防災訓練を積み重ねることが重要です。徹底して繰り返して行うことで災害時の対応が身につくのではないのでしょうか。

被災された皆さんは、何も持たずにまずは避難されたので、できることをさせていただきました。

## 防災訓練の積み重ねが重要

二次災害の危険もあったので、その後も台風が来るごとに、一軒一軒まわって情報の伝達をしました。復旧は目に見えますが、被災者の心の回復は見えません。自治会内で、多額の義援金が集まり、自治会以外からも多くのお見舞いをいただいたことから、人のあたたかさを実感しています。

当時、土のう袋が必要だったのですが、市は全市域からの要請に応えきれない状況でした。被害はこの地域だけでなかったことは理解できますが、備えがあれば、自治会で応急対応できることもあります。また、避難所の準備も急がれることから、市には災害時の体制整備や情報の共有、災害後のシステム作りなどをお願いしたいです。

自治会では、このことをずっと忘れないように、自治会館に被害と復旧状況の写真を掲げています。「台風18号の時はこうだったな」と時を経ても市民が常に思い出せるよう、シンボルとなるようなものも必要ではないかと思っています。



▲境内の建物がほぼ全壊した、五百井神社（左）と自治会館内に掲示されている被害と復旧状況の写真



土砂や倒木により塞がれた道路



前自治会長 神戸昭雄さん  
(安養寺レークヒル)

安養寺山北側の土砂崩れにより、倒木や家屋敷地への土砂流入などの被害。173世帯600人に避難勧告が出された。



▲土砂崩れが起きた安養寺山北側

## 若い世代の多い自治会だからこそ「自助」強化

台風18号に見舞われるまで緊急時の連絡網もなく、防災訓練も、自治会清掃にあわせて行うなど、形式的なものでした。9月15日は、「とりあえず避難を」と言われ、訳も分からない中、避難しました。その後、市の車が住民の皆さんに避難の呼びかけに回ってくださったので助かりました。

当自治会は、歴史も新しく若い世代が多いため、自治会内の連携は必ずしも十分とは言えません。そのため、現時点では、「共助」よりも「自助」の強化が必要と考え、災害時に重要なこと、自治会でできることを皆で話し合いました。災害時は正確な情報をタイムリーに収集することが重要であるとの意見をもとに、市に対しては、必要な情報は防災メールで流すようお願いしました。住民には、防災メールの登録をするよう呼びかけるとともに、緊急時の連絡先（携帯電話など）を整備しました。その際に「助けが必要な人がいる」「助けられる人がいる」かも聞き、自治会内で支援が必要な人を把握できるようにしました。行政に任せきりではなく、自分たちでできることを迅速に行っていくことが大切だと考えています。

## すぐそこに、危険があった日。

危険と隣り合わせの状況で、地域住民の命を守るために奔走された、皆さんが語っていただきました。



前自治会長 山本順孝さん  
(目川)

金勝川の増水により、右岸の堤防決壊による浸水や左岸の構造物損壊などの被害。790世帯2,155人に避難勧告が出された。



▲当日の目川地域

## 深く実感した、地域の絆

昭和28年、5歳の時に金勝川の堤防が決壊したことがあり、当時の記憶は今も残っています。金勝川は天井川であるために土手が弱く、危険の認識は常にありました。また、増水は田んぼに影響を与えるため、大雨が降ると、川の様子を確認しに行くことが地域の慣習でした。

9月16日の5時過ぎに、再確認に行ったときには、堤防が決壊し、ひざ上50cmくらいまで水がきていました。堤防を上がると、川が湖のようになっていました。急いで役員などに連絡するとともに、前年度の自治会長と手分けして、危険箇所に住む皆さんを起こして回り、避難するように必死に呼びかけました。その後、自主的に集まった約50人の地域の皆さんと土のうを積んだり、応急対処をしました。台風通過後の後片付けにも約70人が集まってくださったことや、隣の岡地域からも応援があったことから、地域の絆を深く実感する機会となりました。

災害被害を経験したことで、地域の防災意識が非常に高まりました。防災用具も2箇所に置くようにし、より強い防災組織づくりの取り組みにもつながっています。市には、警報が出たら、空振りに終わってもいいので、住民の命を守るため、早めに避難勧告を出していただくことを望みます。



堤防が決壊し、氾濫する金勝川▶

# 当たり前前が当たり前でなくなった



自治会長 北谷 久太郎さん  
(観音寺)

浄水施設が全壊し、10月1日に仮設受水槽が設置されるまで断水。農作物や林道も大きな被害を受けた。



▲非常用飲料水(6ℓ)の袋

観音寺は金勝川と端ヶ谷川の二つの川に挟まれており、昔から水害に見舞われてきた地域です。9月15日の夜は、豪雨により外一面が真っ白で、昭和28年の台風のことが頭をよぎりました。過去の経験から、地域の要望で上流に大きな砂防堰堤が設置されており、今回、その堰堤のおかげで地域が救われました。

断水になってからは、森遊館や森の未来館のお風呂を利用できたので、皆さんの希望を聞いてまわるとともに、お風呂に入る順番を決めました。給水作業は草津市・守山市・野洲市にも協力いただき、とても感謝しています。

水のこともそうですが、台風18号により、日常生活の当たり前前が当たり前でなくなりました。未だ復旧していない林道も多く、安心できる避難場所が必要だという大きな課題もあります。観音寺は、地域で助け合う「共助」が、ごく自然にできる地域です。「みんなが仲良く暮らす」という、昔からの素晴らしい住環境を守っていくため、早期の復旧を願っています。



◀給水車で水を各家庭へ

## 大切な水。

災害時には水道の断水により、普段当たり前に使っている水が使えなくなることもあります。そのような場合に備え、市では給水車や非常災害用井戸を備えています。

## 災害時に使用できる46カ所の井戸

市には、非常災害用井戸として46カ所の井戸が登録されています。災害時には、水道が長期間断水となることがあります。この井戸は万が一の際に、所有者の無償提供により、トイレや掃除などの生活用水として、市民の皆さんが使える井戸です。

地域での防災意識の向上と助け合いを目的に、所有者に協力いただいています。

問合せ…上下水道課 浄水係

☎551-0134 ☎554-3866

### ■栗東市非常災害用井戸登録一覧(平成26年7月18日現在)

学区名	所有者など	所在地	学区名	所有者など	所在地	
治田	—	小柿八丁目	葉山	青山 佳高	出庭	
	小林 義夫	小柿十丁目		太田 正		
	荒川 桑男			太田 亨		
	矢野 修			太田 弘明		
治田東	林 榮太郎	下戸山		亀田 貢		出庭
治田西	寺井 利夫	下鈎		國松 剛志		
金勝	鵜飼 幸治	東坂		小西 隆		
	竹村 利三	上砥山		深尾 秀五郎		
	青木 安司		山本 正			
	太田 博		大宝東	中井 栄太郎	蜂屋	
	太田 又一		御園	大宝	竹島 彊二	縹四丁目
	佐野 久新	西田 勇			縹七丁目	
	青木 良視	宮城 要			西田 幸枝	縹八丁目
	奥村 市衛門	荒張			大宝西	中島 利行
	宮嶋 富造			尾曲 次男		十里、北中小路
	山本 益造			井之口 秀行		十里
高野 和雄	木村 勉					
高野 喜代造	木村 良太					
三浦 勝広	駒井 伸二					
三好 定之	竹内 喜四男					
葉山東	林 一雄	六地蔵	山元 三男			
葉山	武村 静文	高野	栗東総合産業㈱			
	竹村商事㈱					

※「所有者など」欄の「—」は本人希望により非公開





# 「共助」の力。

災害時には、まずは自分の命や財産を自分で守る「自助」。次に、自分たちの地域を自分たちで守る「共助」が大切です。地域の力が大きければ、被害を最小限にとどめることができます。

▶各家庭に配布されている「林防災マップ」(左)と定期的な防災訓練



## 「共助」の気持ちの見直しを ～林自治会～



### ■地域の企業17社と防災協定を締結

住民同士が協力して自発的に作る自主防災組織は、地域防災活動の要です。林自治会では、平成19年に自主防災組織を立ち上げて以来、活発な活動を続けています。年1回の総合防災訓練をはじめ、広報の発行など本年度は全体で15回の活動を予定。班別の研修、訓練、安全点検も加わり、防災意識の向上につながっています。

また、自治会と地域の17社との間で防災協定も締結。地域にある企業や店舗が災害時にはトイレの使用、人的支援、飲料の提供など、できることを支援する内容になっており、「共助」の輪が広がっています。

### ■震災と水害を想定した組織づくり

近くを野洲川が流れる林自治会。台風18号は、水害の危険を考える機会となり、来年度からの組織の見直しが進んでいます。「震災時だけでなく、水害時の組織を別に作ります。また、水害発生時の行動マニュアルも作成し、全戸配布する予定です。昼間に災害が起こった場合を想定し、災害時の経験や知識のある老人クラブの皆さんにアドバイスをもらうことができる組織体制にもできれば」と語る自主防災会会長の武村泰博さんと副会長の渋江弘さん。

「防災は継続です。やり過ぎるということはない。多くの住民がふれ合い、今だからこそ、『共助』の気持ちをもう一度見直してもらうことのできるよう取り組みたいです」と話してくださいました。

## 支援が必要な皆さんを地域で守る



### 「災害時避難行動要支援者名簿」を作成

市では、平成25年6月21日に公布された「災害対策基本法等の一部を改正する法律」に基づき、「災害時避難行動要支援者名簿」を作成しました。この名簿は、災害時や災害発生の恐れがある場合に、自ら避難することが困難な人について、避難の支援や安否の確認などの必要な措置をとるための基礎となる名簿です。

災害発生時やその恐れがある場合には、この名簿を避難支援者に提供しますが、災害時に迅速・的確な援助ができる体制をとるためには、避難支援者が事前に情報を共有し、把握しておく必要があります。

今後は、地域における支援体制をつくるため、要支援者から同意を得た上で、日頃から支援者・関係機関で情報を共有する制度「栗東市災害時避難行動要支援者登録制度」の整備を進めていきます。

### 視覚障がい者の皆さんによる避難訓練

5月11日、栗東市視覚障害者福祉協会の皆さんが、栗東駅前のウイングプラザで地震時を想定した避難訓練を行いました。

「『災害時にも一人だったら、逃げるのができない』という会員の声から実施していただきました。繰り返し訓練をしていただければ」と語る会長の中尾恭夫さん。「誘導の仕方など、視覚障がい者の皆さんからさまざまなことを教えてもらい、今後の課題も多く見つかりました。災害時に、支援が必要な人々をどのようにサポートしていくか、関係機関と課題を共有し、理解を深めながら一步一步積み重ねていくことが重要です」と語る中消防署・防災指導係長の佐山良則さん。

支援を必要とする皆さんが避難する場合には何が重要か、今後につながる第一歩となる貴重な訓練となりました。

問合せ…社会福祉課 社会福祉係

☎551-0118 FAX 553-3678

# 災害に強いまちづくり。

台風 18 号の経験から、市民の皆さんの大切な命や財産を守るため、市ではより一層の防災力向上のため、取り組んでいます。

## 「公助」(行政機関などによる救助や支援)の力を高める取り組み



### 「総合防災マップ」の全戸配布

今月号の広報と同時に配布しています。滋賀県などの最新の情報・データに基づいた「風水害・地震ハザードマップ」により、市内で発生が予想される災害に対する知識と備えをまとめています。

また、今月号の広報の折込みで、「栗東市防災カード」を配布しています。切り取って、万が一の場合に備え、常に携帯してください。

を受け、現在、音達状況の調査を実施しています。今後、調査結果により、難聴エリアへの改善策を考えていきます。

### 「地域防災計画」の見直し

平成18年度に全面見直しを行った「地域防災計画」を国の災害対策基本法の改正を受け、平成25年度に再度見直し、より現状に合わせた計画としました。

### エリアメール・緊急速報メールの配信

平成25年10月11日から、避難準備情報や避難勧告を、より多くの皆さんにお知らせできるよう、NTTドコモの緊急速報「エリアメール」、auおよびソフトバンクの緊急速報メールの運用を開始しました(詳細は「総合防災マップ」13ページ)。

### 災害時の情報発信手段の強化

災害時の情報発信手段として、同報系防災行政無線、同報系防災無線自動応答電話システム、防犯・防災関連情報メール配信システム、エリアメール、ホームページ、フェイスブック、広報車による広報があります。災害発生時には、現状利用が可能なシステムを最大限に活用して情報伝達に努めます(詳細は「総合防災マップ」12ページ)。

同報系防災無線は、「聞こえにくい」という声

### 防災士の育成・防災指導員の配置

地域防災力を高めるために、専門的な知識を取得した防災リーダーの育成に努めます。本年度から3年をかけて、自治会、自主防災組織役員、消防団員などを対象に毎年50人、全自治会に1人の防災士育成を目指し、取り組みを進めています。

また、本年度から、防災防火に関する知識や経験、技能を有する「防災指導員」を危機管理課に配置しています。出前講座などで地域の実情に応じたアドバイスや防災訓練の指導を行っています。

問合せ…危機管理課 総合防災・危機管理係

☎551-0109 📠551-0149

## ～大槌町派遣職員から～

### 自然災害から学んだこと

栗東市をはじめ多くの地域に被害をもたらした昨年の台風18号は、皆さんの記憶に新しいことと思います。自然災害は、いつ、どこで起こるか分かりません。私は、市職員として、東日本大震災の復興支援の命を受け、岩手県大槌町へ三カ月間赴任しました。

海岸線に位置する大槌町は震災で役場も壊滅する甚大な被害を受けた町の一つで、私の赴任中も幾度となく余震が続き、震度4以上では高台まで職員も住民も避難するといった状況でした。

復興の仕事をしていただく中、当時の話を大槌町職員に聞いたり、住民の皆さんの厳しく苦しい生活を目の当たりにしたことで、私は市職員としてだけではなく、一人の人間として防災を考えるようになりました。私の考える防災とは、災害は起こることを前提に備えをするとともに、有事の際にどのように対処して行くかを考えることだと思います。行政と地域が連携することはもちろんですが、地域内でも日頃から隣近所に声を掛け合うなどの密な関係を築く必要があります。自分一人ではなく、他の多くの人々に支えられて生きていることを私たちは改



■台風11号で避難勧告

8月9日から10日に台風11号が来襲した際、市では災害対策本部を設置し、24時間体制で被害状況の確認や情報収集などにあたりました。



9日昼、安養寺レークヒル自治会と安養寺山下戸山側地域の合計176世帯607人に避難準備情報を発令。夕方には、避難勧告を出しました。幸いに大きな被害はありませんでしたが、今後も市では気象状況に注意し、迅速な判断で、市民皆さんの安全を守ることができるよう、取り組んでいきます。

## まち全体で防災力アップ

※最近の取り組みの一部を写真で紹介します。



■自衛消防隊リーダー研修会  
(普通救命講習など) <7月27日>



■コミュニティセンター葉山・葉山児童館・学童保育所・チョー元気玉クラブ4館合同避難訓練<8月6日>



■エネロハス株式会社(荒張)と災害時における蓄電池システムなどの提供について応援協定締結<8月1日>

めて認識しなければなりません。

東日本大震災で大津波が町を襲った時、中学生が小さな子どもたちを背負って高台に逃げ命を守ったそうです。人を救うのは人であるということ、その大切な教を一人でも多くの人々に伝えることが、私の市職員として、一住民としての務めだと思っています。その大切な教を伝えていくため、取り組んでいきたいです。

教育委員会 教育総務課 課長補佐 奥村薫



## 「安全・安心なまちづくり」をいっそう強化

栗東市長  
野村昌弘



昨年の台風18号では、市内で記録的な集中豪雨となり、土砂災害で一人の尊い命が失われるという非常に残念な事態となりました。また、河川堤防の決壊や市内道路の冠水、家屋の浸水や農業被害など、本市は甚大な被害を受け、自然災害の脅威を改めて思い知らされました。この台風18号の影響による災害被害からの一日も早い復旧・復興に向けての取り組みを、本年度も施策の重点項目として掲げ、進めています。

台風18号による被害を経験したことにより、市でも情報発信、避難勧告・指示の方法や時期など、市民皆さまの声からも多くのことを学ばせていただきました。この経験から、地震や豪雨被害など、いつどこで発生するかわからない自然災害に対する「安全・安心なまちづくり」のため、一層の取り組みを進めています。民間企業や各種団体などとの災害応援協定の締結をはじめ、自治体間での応援協定の締結、近隣4市(栗東市・草津市・守山市・野洲市)が合同で消防・防災訓練を行うなど、つながりを大切に、広域で連携して相互が助け合う取り組みにも力を入れています。

一方で、災害発生時には、まずは自らの安全を確保すること、そして地域を守るために、皆さ一人ひとりが日頃から防災意識を高めていただくとともに、自主防災組織の活動を活性化していくことも重要となります。

今後も、一日も早い復旧・復興のため、全力をあげるとともに、「自助」「共助」「公助」の強化により、市全体で災害に強いまちを築くことができるように進めます。市民皆さまの安全安心な暮らしを守ること、つまり、「いつまでも住み続けたいくなる安心な元気都市栗東」の構築に向けて、引き続き全力で取り組んでいきます。

※市ホームページで、台風18号の復旧状況に関する市長メッセージを動画で配信しています。

# 幼稚園・保育園・幼児園の新年度入所について

毎年、市広報9月号でご案内している「幼稚園・保育園・幼児園の新年度入所」は、国の制度変更の関係により、今後の広報10月号や市ホームページで案内します（在園児は園を通じてもご案内します）。

平成24年の夏、子育てに関する法律が変わり、国は「子ども・子育て新制度」関連法の整備を進めており、それに沿って、現在、全国の自治体でも法整備を進めています。

しかし、国が本年春に示すと説明していた「子ども・子育て支援新制度」に関する内容が大幅に遅れています。

国などの法律や制度は大きく変わりますが、来年度の入園に関する手続きについて、本市はできる限り従来通りの取り組みとなるよう努めたいと考えています。

平成24年8月、日本の子ども・子育てをめぐる様々な課題を解決するために、「子ども・子育て支援法」という法律ができました。

この法律と、関連する法律に基づいて、幼児期の学校教育や保育、地域の子育て支援の量の拡充や質の向上を進めていく「子ども・子育て支援新制度」が、早ければ平成27年4月に本格スタートします。

この新制度を実施するためには、消費税が10%になった際の増収分から、毎年7,000億円程度が充てられることになりました。

貴重な財源を子ども・子育て支援のために効果的に活用していきます。

<内閣府・文部科学省・厚生労働省

「子ども・子育て新制度なるほどBOOK」より>

問合せ…幼児課

☎551-0424 ☎551-0149

## 喫煙マナーを守りましょう～路上喫煙の防止～

路上喫煙は、子どもをはじめ他の歩行者にやけどを負わせたり、衣服を焦がしたりするなど直接的な危害を加える可能性があるだけでなく、受動喫煙による健康への被害を与えます。また、吸い殻のポイ捨てにより、街の美観を損ねるなど多くの迷惑が社会問題化しています。

市では、路上喫煙の防止に関する条例を制定し、市内全域の道路、公園その他の公共の場所においての路上喫煙の防止に取り組んでいます。互いが協力しながら栗東市をマナーやモラル意識の

高い、安心・安全で快適なまちにしていきたいです。

■喫煙者の皆さんへ

・屋外では他人に迷惑を及ぼしたり、被害を与えたりする恐れのある歩行中（自転車運転中を含む）の喫煙はやめ、管理者などが指定した場所で喫煙しましょう。

・マナーを自覚し、吸い殻は適正に処理しましょう。

問合せ…環境政策課 生活環境係

☎551-0341 ☎554-1123



## 野焼き（野外での廃棄物焼却）は禁止されています

廃棄物の野外焼却、いわゆる野焼きは「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」第16条の2において一部の例外を除き禁止されています。

また、一定の構造基準を満たしていない焼却炉についても使用が禁止されています。

《野焼き禁止の例外》

- ・国または地方公共団体がその施設の管理を行うために必要な廃棄物の焼却
- ・震災、風水害、火災、凍霜害その他の災害の予防、応急対策または復旧のために必要な廃棄物の焼却
- ・風俗習慣上または宗教上の行事を行うために必要な廃棄物の焼却

・農業、林業または漁業を営むためにやむを得ないものとして行われる廃棄物の焼却

・たき火その他日常生活の焼却であって軽微なもの

※例外規定とされた行為であっても、生活環境を阻害する場合や危険な場合は行政指導の対象となり、焼却を中止していただくこともあります。

家庭から出るごみは正しく分別し、決められた日にごみ集積場へ出していただくか環境センターへ自己搬入してください。自己搬入は、事前に環境政策課への手続きが必要です。

問合せ…環境政策課 環境政策係

☎551-0336 ☎554-1123





# 認知症キャラバン・メイト養成講座

認知症の人やその家族が安心して地域で暮らし続けるためには、周囲の人の理解や支援が必要です。そのために認知症についての正しい知識を持ち、認知症の人を温かく見守る人を増やすことを目的に、サロンや各種団体・企業・学校などで認知症サポーター養成講座（寸劇やクイズなどで認知症について楽しく学べる学習会）を実施しています。

今回その講師役となる「認知症キャラバン・メイト」の養成講座を開催します。



受講料無料

- 日時…11月11日(火) 9時30分～16時30分
- 場所…野洲市総合防災センター 研修室  
(野洲市辻町488番地 野洲図書館隣接)
- 内容…
  - ・第1部 ◆グループワーク◆  
認知症の人と家族が地域で安心して暮らせるために、キャラバン・メイトとしてできることを考えよう。
  - ・第2部 ◆講義◆「認知症を理解する」  
講師：宮川 正治さん  
(南草津けやきクリニック 院長)
- 対象…一日をとおして受講でき、実際の活動(認知症サポーター養成講座の講師役、定例連絡会など)に参加できる人
- 申込み締め切り…10月17日(金)

認知症について関心をお持ちの人で、何か活動をしたい、得られた知識と経験を活かしてみたいと思っている人は、ぜひご参加ください。お待ちしております。

問合せ・申込み…長寿福祉課 地域包括支援センター  
☎551-0285 ☎551-0548

## ～「個人情報を教えないと年金を停止する」という電話～

**Q** 突然知らない女性から電話があり「国の調査なので答えなければ年金が減額される」と言われ、生年月日、家族構成、年金受給額などを聞かれた。不快に思い何も答えず電話を切ったところ、すぐに「市役所の年金を担当している」という男性から「調査に協力しないと年金が停止されるがよいのか」と電話があった。電話を切ってすぐに電話がかかる、という繰り返しでとてもしつこかった。不審であり気味が悪い。

(80代 女性)

**A** 公的機関の調査などをかたり、年金を停止するなど脅して個人の情報を聞き出そうとするケースです。相手のペースに乗らないことが大切です。

公的機関が個人宅に電話して、いきなり生年月日や家族構成などを尋ねたり、年金の支給停止を告げるなどということはありません。電話がしつこく続くときは、最寄りの警察や消費生活窓口へご相談ください。

問合せ…生活交通課 消費生活相談窓口  
☎ 551-0115 ☎ 551-0149

## 草津警察署安全伝言板



9月11日は「警察相談の日」  
警察相談専用電話は「# 9110」

9月11日は「警察相談の日」です。

警察本部では、犯罪などによる被害の未然防止、不安や危険を感じていること、日々の生活の安全・安心に関する相談、また警察業務全般に関する意見、要望、苦情などを、専用ダイヤルの「県民の声110番」(#9110)または☎525-0110で受け付けています。

※平日の8:30～17:15のみ。この時間帯以外は、☎522-1231へ。

なお、事件・事故などの緊急時で、警察官の対応を要する場合は、110番をお願いします。

問合せ…滋賀県警察本部 警務部警察県民センター  
相談・広聴係  
☎ 522-1231 ☎ 522-1252

# りっとう再発見

102

## 萬年寺の肖像画

小野・萬年寺には、江戸時代の栗東に花開いた文化の一面を表わす貴重な資料として、栗東市指定文化財に指定されている二点の肖像画があります。描かれているのは、中国から日本にやってきて京都・宇治に萬福寺を開き、黄檗宗の開祖となった隠元隆琦、そして隠元隆琦の孫弟子で黄檗宗の三傑と称された慧極道明です。描いた人物については、隠元隆琦像が喜多長兵衛、慧極道明像は筆者不詳とされています。今回は、これらの肖像画についてのおはなしです。

まず、隠元隆琦像、慧極道明像の特徴をみておきましょう。お坊様が「曲录」と呼ばれる椅子に座る様子は古くから変わりませんが、その姿を正面から捉えて、顔などに陰影を施して立体的に描いています。それまでに描かれていた肖像画では、対象となる人物を左手前や右手前から捉えており、陰影の表現もみることができません。こうした違いは、隠元禅師とともに日本にやってきた中国人画家から、当時の日本にはなかった最新の絵画技術を学んで制作されたことによるもので、萬年寺の肖像画はその初期の作例として知られています。



◀萬年寺の肖像画  
(左：隠元隆琦像、右：慧極道明像)

ところで、このほかにも肖像画を見るポイントがあります。それは、着衣に刻まれるしわ（衣文）の描き方です。多くの場合、お坊様は「曲录」に座るのですが、そうすると膝下に垂れた袈裟には動きが生まれます。この袈裟の動きを表わすしわは、実際に現れた着衣の動きを表わすものではなく、形式的なものである場合があります。たとえば、慧極道明像の着衣は、両膝の間に折り返しのある線描でしわを描いています。顔の描写に比べて幾分か形式化した着衣の描写に注目すると、藤原種信という画家の描く肖像画の多くに一致する特徴であることがわかります。このように細部の表現を検討していくことによって、不詳とされる画家の正体も推測されてくるわけです。眼を凝らして、注意深く観察・比較してみるのもよいのではないのでしょうか。

※栗東歴史民俗博物館では、普段出会う機会の少ない「近世の仏画・頂相」を特集します。展示では、萬年寺の肖像画にも出会うことができます。詳細はおしらせ版4ページをご覧ください。

問合せ…栗東歴史民俗博物館

☎554-2733 FAX 554-2755

◆今後の掲載予定

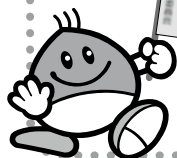
りっとう再発見…11、12、1、3月号  
すだじいの百年日記…10、2月号

### くりちゃん 元気いっぱい運動 第3弾 ～ありがとうが 言える子育て～

⑥

問合せ…  
幼児課

☎551-0424  
FAX 551-0149



### 《大宝幼稚園》「～4歳児『いいとこめがね』～」

クラスの中で友だちのいいところにたくさん目が向けられるように、「いいとこめがね」をかけて、友だちのいいところを見つけようという取り組みをしています。子どもたちは「〇〇ちゃんがトイレのスリッパを並べてくれたよ」「〇〇くん、お当番の仕事、みんなのためにがんばってくれてありがとう」と、毎日たくさん友だちのいいところを見つけています。

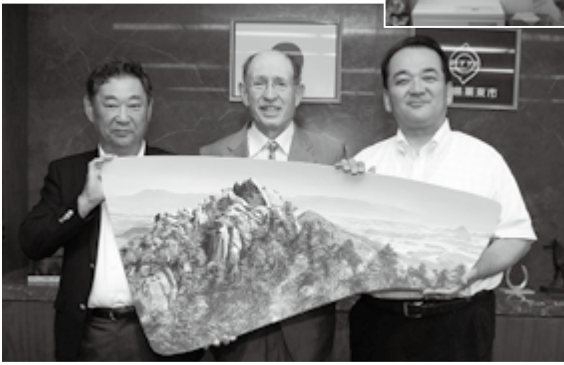
いろいろな場面で、感謝の気持ちを素直に「ありがとう」の言葉で相手に伝えたり、友だちから「ありがとう」と言ってもらいうれしくなる経験をしたりすることで、お互いに心が温かくなるかわりが広がってほしいと願っています。



”ありがとう” 心をつなぐ 愛言葉 ～21世紀スローガンコンテスト 優秀賞作品～



曲面絵画「金勝 芽吹く」を  
観光案内所に展示



7月末～（栗東観光案内所）  
6月、大津市在住の風景画家プライアン・ウィリアムズさんの曲面絵画「金勝 芽吹く」を(株)三東工業社様から市に寄贈いただきました。この作品を観光案内所に展示し、多くの皆さんが名画に触れる機会となっています。

安養寺山に見守られ、音楽で一つに



7月27日（コミュニティセンター治田東）  
安養寺山に見守られながら、音楽活動を通じてよりよいまちづくりに貢献しようと「安養寺山音楽会」が企画されました。出演者と観客、また、世代の垣根を越え、約100人が音楽で一つになり、心地よい時間を過ごしました。

ハンガリーの留学生と交流



8月6日（治田東児童館）  
保護者クラブ「ママプロジェクト」と治田東児童館が協働で、ハンガリーの留学生と交流する取り組みが行われました。歌、キューブパズル作りなどにより、子どもたちが英語に親しみ、ハンガリーを理解する機会となりました。

フォトニュース



このページは皆さんからの情報をお待ちしています。  
地域の出来事や話題をお寄せください。取材に伺います。  
広報課 ☎551-0641 📠554-1123



7月14日 にここ広場  
（治田東児童館）  
地域子育て支援センター・保育園・幼稚園・幼児園・ひだまりの家・児童館が協働で開催。0歳児の親子が楽しいひとときを過ごしました。

7月17日 日頃のボランティア活動にお礼(大宝幼稚園分園)地域の警備会社の皆さんに、大きなひまわりを中心に、園児の似顔絵が入った作品をプレゼント。通園時の見守りなどに対する感謝の気持ちを伝えました。



7月27日 栗東市ふれあいニュースポーツ大会（市民体育館）  
ディスコン、公式ワナゲ、スローイングピンゴのニュースポーツをチームで競技。参加した18チーム約50人が心地よい汗を流し、交流を深めました。

7月29日 スローイングピンゴで交流（地域子育て支援センター金勝）  
栗東発祥のゲーム「スローイングピンゴ」を子どもたちが体験。友情もいっそう深まる、楽しい時間となりました。



8月1日 滋賀南リトルシニアが「第4回日本リトルシニア西日本野球選手権大会」出場報告（市役所）  
チームを市長や教育長が激励。大会には市内14人の中学生が出場し、力強い決意で大分南シニアとの初戦に臨みました。

# りっとう キラリさん

このページは、さまざまな分野で活躍されている皆さんを紹介するコーナーです。

## ■滋賀の祭りを動画で紹介しようと思ったきっかけは？

滋賀の祭りの情報は、写真と説明文だけで紹介したものが多く、魅力をより現実に近い形で伝える動画で紹介したものはほとんどありませんでした。それなら自分で作ろうと、平成23年から取材を続け、昨年末に取材した祭りが百件になったのを機に、ホームページ「近江祭百選」にまとめました。動画では、太鼓の音や人々の激しい動きなども伝えることができ、より臨場感にあふれた形で魅力を発信することができます。

## ■百件もの取材のご努力があつての受賞だと思います。

公益社団法人びわこビジターズビューローがホームページで発信する「滋賀県観光情報」に載っている祭りを中心に、一日にいくつもの祭りをはしごすることもありました。「滋賀Web大賞2014」は、滋賀県地域情報化推進会議の主催により、豊かな地域社会を築くことに貢献する優れたウェブサイトを表彰されています。3年分の取材を頑張ってまとめ、Web大賞5周年を記念した「審査員特別賞」を受賞することができました。

## ■編集する際に心掛けておられることは？

長すぎる動画は見てもらえません。約5分間でいかに人を引きつけることができるか、常に見る人の立場で編集するため、一日がかりの作業にな



西村 久さん  
(66歳・笠川)

「滋賀Web大賞2014」で、自身が作成したホームページ「近江祭百選」が審査員特別賞を受賞。滋賀の魅力ある祭りを動画で配信中。  
■「近江祭百選」ホームページ…  
<http://www.eonet.ne.jp/~oumimatsuri/>  
[近江祭百選]検索でトップに表示

ります。本市の上砥山地域で行われる「どぶろく祭り」は、実際は現地に5回足を運びましたが、魅力を短時間で伝えられるようにまとめました。

## ■今後の夢は？

「近江祭百選」は滋賀の観光と地域の活性化を目的としており、撮影した動画は、他の媒体でも活用いただいています。今後も「近江祭百選」をさらに充実させることと併せ、「この神社には、このような魅力あるお祭りがある!」ということを多くの人に知ってもらえるように取り組みたいです。

写真や動画撮影のボランティアもされている西村さん。技術はすべて独学で習得された、努力の人でもあります。西村さんならではの視点で、栗東はもとより、滋賀の祭りの魅力が全世界に発信されています。

**売り土地、求めています!**  
お急ぎの方は買取りいたします

屋上庭園着工数 **滋賀県内 No.1**

2012年5月 東邦レオ(株) 調査による

**SEIWA 西和不動産販売(株)** 栗東市上約 459-7  
<http://www.seiwa2103.co.jp/> TEL.077-554-0880

**相続・遺言・借金の無料相談開催**

- ◆最近親族が亡くなった
- ◆相続した預金口座の名義を変更したい
- ◆相続した土地の名義を変更したい
- ◆亡くなった親族に借金がある
- ◆円満に遺産を分けたい
- ◆遺言や贈与で生前対策を検討したい

お年寄りにわかるまで 何度でも説明します!

**借金問題** 借入金や住宅ローンの返済が苦しい  
借金を整理して人生を再出発したい

まずは相談 ☎ 077-516-8001 [予約電話番号]

**たけまえ司法書士事務所**  
草津市草津三丁目10番19号  
代表: 竹前浩和 (簡裁代理番号: 512248)

創業32年 まごころこめてお手伝い

**滋賀ペット葬儀社**

栗東セレモニーホール **年中無休**

お迎え・個別火葬・納骨供養

日本ペットランド 栗東市坊袋207-1

**077-554-5515**

広告欄 有料広告掲載のお申込み・お問合せは 広報課 ☎551-0641 FAX554-1123へ  
※掲載している広告の内容などのお問合せは、直接広告主へお願いします。